

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】 アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

学会名	30th The International College of Neuropsychopharmacology (CINP) [国際神経精神薬理学会]
演題名	Treatment with rapamycin improves deficits of social interaction in the mice exposed in utero to valproic acid
発表者	○ <u>Kotajima-Murakami Hiroko</u> , Ikeda Kazutaka, <u>Uchino Shigeo</u> .
内容	2016年7月5日に、韓国ソウル (COEX) で開催されたCINPにおいて、村上博士研究員が発達神経毒であるバルプロ酸を胎児期に暴露させた仔マウスにおける分子発現解析や行動解析結果を発表した。分子発現解析においては、コントロールマウスと比べ免疫関連分子であるケモカインの発現が異なることを発表した。本結果は、近年注目されている神経-免疫連関の観点からも非常に興味深い結果である。